



報々館書圖屋古名立市

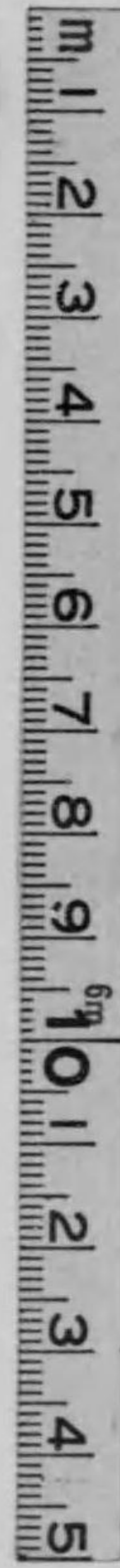
行發日一月六年三十正大

號 六 第

- 新聞閱覽室
- 一、坪 數 二十四坪二〇八
 - 一、收容人員 約四十人
 - 一、新聞閱覽臺 十六脚
- 臺の寸法
- 閱覽版面 三尺に二尺二寸
 - (兩面使用)
 - 版面角度 約二十五度
 - 新聞押へ 眞鍮ニッケルメッキ
 - 直径八分五厘の圓筒
 - 中央の支柱 二寸五分角
 - 床より版面の上部迄 高五尺一寸
 - 臺の接床部面 直径一尺八寸
 - (重量ある厚木造)
 - 一、外に鐵込新聞掛臺 二脚
 - 卓 子 二脚



室覽閱新聞館書圖屋古名立市



始



書物の禮讚

其一 リチャード・テイ・ペリー

書物は多くの教訓を含んでゐる。書物は多くの人生に、其無智を極めてたやすく、しかもそれが爲に愧かしいやな感じを持たせること無く、こつこつと、こつこつと、しかも懐らさず赤裸々に之をむき出す。又書物は頼も持たないし、又叱つたり、罵つたりするやうのことも無く、刺へ金も着物さへも持たない貧しい人々を、よく丁寧に親切に教へて呉れる先生である。私共がそれに近づいて行くことは、つりも眼を開いて、何も隠さずに教へてくれる。たゞこつこつとの間が間違つてゐるやうが、少しもアツ／＼いふでも無く、又笑ふこともしない。……

其二 ジョン・ミルトン

書物を死物であると思つてはいかぬ。それを産み出した靈魂の活動的な生き／＼した力が其内に包みこまれてゐる。……真の書物は、優れた精神の貴い生血が、來世の爲めに、特更に清香をたきしめて貯へおかれてゐるのである。……

其三 セレミー・コルリアー

書籍は青年期における指導者であり、老年期における慰安者である。淋しい中に私達を支へて行き、且自分自身を重荷にするこの無いやうにしてくれる。又人や物に對する意地の悪さを忘れさせ、心配と慈性を落着かせ、失望から免がれしめる。……

朝の第一時間に於ける
登館者調

四月一日より、午前八時始めとなつたに就て、春とはいへ、まだ肌寒き四月の空、此寒けさを推して登館せらるゝ閱覽者の數を調べて見たら

四月中 午前八時より一時間内に於ける入館人員

月日	男	女	計	男	女	計	男	女	計
一	1	1	2	1	1	2	1	1	2
二	1	1	2	1	1	2	1	1	2
三	1	1	2	1	1	2	1	1	2
四	1	1	2	1	1	2	1	1	2
五	1	1	2	1	1	2	1	1	2
六	1	1	2	1	1	2	1	1	2
七	1	1	2	1	1	2	1	1	2
八	1	1	2	1	1	2	1	1	2
九	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十一	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十二	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十三	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十四	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十五	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十六	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十七	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十八	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十九	1	1	2	1	1	2	1	1	2
二十	1	1	2	1	1	2	1	1	2
合計	20	20	40	20	20	40	20	20	40

大正十三年度經常部圖書館費歳出豫算表

市立名古屋図書館

科	款	項	目	本年度		増△減	附記
				豫算額	前年度		
圖書館費	給料	給	職員給	2,390	2,068	322	一人月俸六拾圓
			旅費	200	200	0	概算
			嘱託給	700	700	0	一人月俸六拾圓
			司書書記給	6,200	5,600	600	司書・書記六人月俸平均八拾五圓
			館長給	2,400	2,200	200	一人年俸
			雜給	3,700	3,600	100	概算
			給仕及使丁給	2,600	2,600	0	一人月俸六拾圓
			賞與	2,600	1,800	800	概算
			備品費	3,300	3,300	0	概算
			印刷費	800	800	0	概算
需用費	3,900	3,900	0	概算			
備人料	2,200	2,200	0	概算			
賞與	2,600	1,800	800	概算			
退職給與金及死亡給與金	1	1	0	概算			
備品費	3,300	3,300	0	概算			
印刷費	800	800	0	概算			
通信運搬費	200	200	0	概算			
贈費	200	200	0	概算			
被服費	200	200	0	概算			
電燈及電力費	1,600	1,600	0	概算			
電話費	200	200	0	概算			
給水費	100	100	0	概算			
雜費	200	200	0	概算			
修繕費	200	200	0	概算			
國庫納金	0	0	0	概算			
恩給基金	0	0	0	概算			
常時修繕費	0	0	0	概算			
館長以下恩給基金	0	0	0	概算			

朝の第一時間に於ける
登館者調

四月一日より、午前八時始めとなつたに就て、春とはいへ、まだ肌寒き四月の空、此寒けさを推して登館せらるゝ閱覽者の數を調べて見たら

四月中 午前八時より一時間内に於ける入館人員

月日	男	女	計	男	女	計	男	女	計
一	1	1	2	1	1	2	1	1	2
二	1	1	2	1	1	2	1	1	2
三	1	1	2	1	1	2	1	1	2
四	1	1	2	1	1	2	1	1	2
五	1	1	2	1	1	2	1	1	2
六	1	1	2	1	1	2	1	1	2
七	1	1	2	1	1	2	1	1	2
八	1	1	2	1	1	2	1	1	2
九	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十一	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十二	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十三	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十四	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十五	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十六	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十七	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十八	1	1	2	1	1	2	1	1	2
十九	1	1	2	1	1	2	1	1	2
二十	1	1	2	1	1	2	1	1	2
合計	20	20	40	20	20	40	20	20	40

四月開覽統計表 開覽日数二十九日

分類	和漢書洋書	計	百分
總計	二五三	二五三	一〇〇
第一類	一五	一五	五
第二類	一〇	一〇	四
第三類	一〇	一〇	四
第四類	一〇	一〇	四
第五類	一〇	一〇	四
第六類	一〇	一〇	四
第七類	一〇	一〇	四
第八類	一〇	一〇	四
第九類	一〇	一〇	四
第十類	一〇	一〇	四
第十一類	一〇	一〇	四
第十二類	一〇	一〇	四
第十三類	一〇	一〇	四
第十四類	一〇	一〇	四
第十五類	一〇	一〇	四
第十六類	一〇	一〇	四
第十七類	一〇	一〇	四
第十八類	一〇	一〇	四
第十九類	一〇	一〇	四
第二十類	一〇	一〇	四
第二十一類	一〇	一〇	四
第二十二類	一〇	一〇	四
第二十三類	一〇	一〇	四
第二十四類	一〇	一〇	四
第二十五類	一〇	一〇	四
第二十六類	一〇	一〇	四
第二十七類	一〇	一〇	四
第二十八類	一〇	一〇	四
第二十九類	一〇	一〇	四
第三十類	一〇	一〇	四
第三十一類	一〇	一〇	四
第三十二類	一〇	一〇	四
第三十三類	一〇	一〇	四
第三十四類	一〇	一〇	四
第三十五類	一〇	一〇	四
第三十六類	一〇	一〇	四
第三十七類	一〇	一〇	四
第三十八類	一〇	一〇	四
第三十九類	一〇	一〇	四
第四十類	一〇	一〇	四
第四十一類	一〇	一〇	四
第四十二類	一〇	一〇	四
第四十三類	一〇	一〇	四
第四十四類	一〇	一〇	四
第四十五類	一〇	一〇	四
第四十六類	一〇	一〇	四
第四十七類	一〇	一〇	四
第四十八類	一〇	一〇	四
第四十九類	一〇	一〇	四
第五十類	一〇	一〇	四
第五十一類	一〇	一〇	四
第五十二類	一〇	一〇	四
第五十三類	一〇	一〇	四
第五十四類	一〇	一〇	四
第五十五類	一〇	一〇	四
第五十六類	一〇	一〇	四
第五十七類	一〇	一〇	四
第五十八類	一〇	一〇	四
第五十九類	一〇	一〇	四
第六十類	一〇	一〇	四
第六十一類	一〇	一〇	四
第六十二類	一〇	一〇	四
第六十三類	一〇	一〇	四
第六十四類	一〇	一〇	四
第六十五類	一〇	一〇	四
第六十六類	一〇	一〇	四
第六十七類	一〇	一〇	四
第六十八類	一〇	一〇	四
第六十九類	一〇	一〇	四
第七十類	一〇	一〇	四
第七十一類	一〇	一〇	四
第七十二類	一〇	一〇	四
第七十三類	一〇	一〇	四
第七十四類	一〇	一〇	四
第七十五類	一〇	一〇	四
第七十六類	一〇	一〇	四
第七十七類	一〇	一〇	四
第七十八類	一〇	一〇	四
第七十九類	一〇	一〇	四
第八十類	一〇	一〇	四
第八十一類	一〇	一〇	四
第八十二類	一〇	一〇	四
第八十三類	一〇	一〇	四
第八十四類	一〇	一〇	四
第八十五類	一〇	一〇	四
第八十六類	一〇	一〇	四
第八十七類	一〇	一〇	四
第八十八類	一〇	一〇	四
第八十九類	一〇	一〇	四
第九十類	一〇	一〇	四
第九十一類	一〇	一〇	四
第九十二類	一〇	一〇	四
第九十三類	一〇	一〇	四
第九十四類	一〇	一〇	四
第九十五類	一〇	一〇	四
第九十六類	一〇	一〇	四
第九十七類	一〇	一〇	四
第九十八類	一〇	一〇	四
第九十九類	一〇	一〇	四
第一百類	一〇	一〇	四

兒童室圖書數 大正十三年四月五日現在

門	部	冊數
一	總計	一〇八
二	宗教	二九
三	教育	二一
四	文學	一四〇
五	歷史	一〇三
六	地理	二二
七	經濟	一六
八	政治	一六
九	社會	一六
十	衛生	一六
十一	體育	一六
十二	遊藝	一六
十三	美術	一六
十四	音樂	一六
十五	戲劇	一六
十六	電影	一六
十七	攝影	一六
十八	印刷	一六
十九	其他	一六
二十	未分類	一六

四月開覽統計表

職業別	開覽		計	一日平均
	男	女		
學生	四六六	一八三	六四九	二二
官吏軍人	三九	四	四三	一
宗教者	二	一	三	〇
記者著述者	八	〇	八	〇
商業者	三五	三	三八	一
無業者	二五	二	二七	一
計	一六〇〇	三二七	一九二七	六四

入館兒童學校別開

前號に於て、開館以來半ケ年間に於ける、標記の統計を掲げたが、尙茲に新年度の初頭即四月の統計を示せば。

大正十三年四月入館兒童學校別開

學校名	入館兒童數
小學校名	五二五
小學校名	一八二
小學校名	一四一
小學校名	九一
小學校名	五三
小學校名	四四
小學校名	三九
小學校名	二六
小學校名	二二
小學校名	一五
小學校名	一〇
小學校名	八
小學校名	七
小學校名	六
小學校名	五
小學校名	四
小學校名	三
小學校名	二
小學校名	一

寄贈圖書

- 自三月一日至四月卅日
- 青山餘影 一 青山書院
 - 第四十二回帝國統計年鑑 一 統計局
 - 鹿兒島高等農業學校一覽 一 其 校
 - 肥塚龍自叙傳 一 肥塚麟一氏
 - 商業經濟論叢 一 渡邊龍聖氏
 - 職業指導と學校教育外一種 一 文部省
 - マルクス全集外三種 一 額綱兵氏
 - 知らねばならぬ電氣の働き 一 井上謙吉氏
 - 高速度鐵道に就て 一 工政會
 - 官吏學提要 一 星一氏
 - 支那貿易の概況 一 商務局
 - 米澤高等工業學校一覽 一 其 校
 - 愛知縣武將傳外一種 一 手島益雄氏
 - 京都圖書館和漢圖書分類目錄 一 京都圖書館
 - 關東應要覽 一 其 廳
- 本邦に於ける製紙原料木材パルプの現況外二種
- 職工生計狀態調査 一 社會局
 - スプリンクスは笑ふ 一 照志田長雄氏
 - 神戸市立圖書館和漢圖書分類目錄 一 神戸市立圖書館
 - 特許局統計年表 一 特許局
 - 赤毛布 一 箕形鐵太郎氏
 - 神戸市史史料三 一 神戸市役所
 - 曹洞入門 一 小松原國乘氏
 - 神戸高等工業學校一覽 一 其 校
 - 俳隱詩存 一 森一兵氏
 - 稻香會圖錄 一 森村宣稻氏
 - 日本文典外 一 長谷川進二郎氏
 - 大正九年愛知縣統計書外一種 一 愛知縣
 - 煙火の榮 一 日下部松太郎氏
 - 春秋大全外九種 二八 山田幸太郎氏
 - 岡山圖書館要覽 一 其 館
 - 開ける門外三種 一 大和久雄氏
 - 玉木家記 一 玉木リツ氏
 - 砂漠の光外三種 一 阪谷俊作氏

第十八回日本全國圖書館大會

國民思想善導に關し圖書館の採るべき最良方案如何

答申案

國民思想善導に關しては吾人の常に注意を怠らざる所其方法一にして是らすと雖も通俗圖書館に於ては左記各項を以て特に必要なるものと認む

- 一、國民として讀むべき基本圖書を選定し全國圖書館舉て之が普及に努むる事
- 二、圖書館には必ず讀書相談係を置き特に思想善導に注意する事
- 三、全國各町村に圖書館の設置を獎勵し之が實現に努むる事
- 四、巡回書庫の普及發達に努め國民文化の向上を計る事

右答申候也

大正十三年四月二十三日

第十八回日本全國圖書館大會 決議案

大正十三年四月二十六日長崎縣立圖書館に開かれたる同會協同會に於て満場一致を以て左の議案を決議す

本大會ハ各府縣ニ於テ速ニ府縣立圖書館ヲ設置セラレンコトヲ要望ス

大正十三年四月二十六日

第十八回日本全國圖書館大會

右實現に關し當局との交渉其他一切は日本圖書館協會理事に一任することとなつた。而して協會理事は右に關し十分實踐に努むべき旨聲明せられた。

